

踏み跡 <My Mountains>

奥秩父	瑞牆山荘から瑞牆山	No.299
-----	-----------	--------

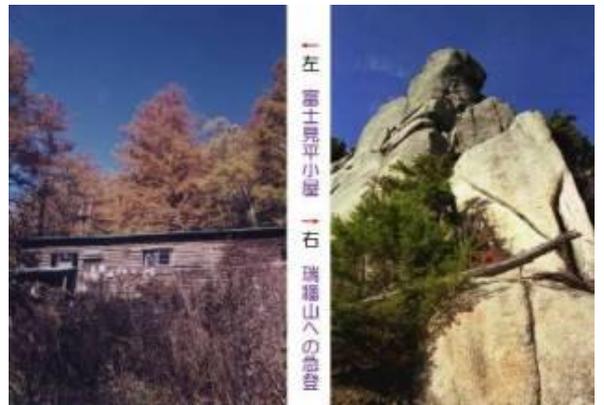


諏訪営業所の現在の担当者と過去の担当者の中に山歩きが好き
なメンバーがいて、時々集まって
山歩きをしているとのこと。土
屋・後藤兩名から誘いを受けて参
加することになった。行き先は増
富温泉から瑞牆山。
瑞牆山は昭和 59 年 7 月以来二度
目の登山になる。

平成 11 年 10 月 30 日
天気は申し分のない快晴。土屋車
に同乗して 5 時 35 分に自宅を出
発。須玉 IC9 時、で後藤車（川崎
同乗）と合流して増富温泉へ。
増富温泉で登山スタイルに着替

えて、後藤車に集結。瑞牆山荘に車を置いて、11 時に出発。青空に映える木々の色づきは絶好の秋色。
富士見平小屋で水を汲んで小休止。小屋は杉板張りで昔のままの味わいのある山小屋だった。（下写真左）
正面に瑞牆山を置いて天鳥川に下って行く道は絶景という言葉がぴったりする。

河原で昼食をとり、急登の前の大休止。河原は海拔 1800m 位なので高度差は 400m 以上、岩峰は見上げる高さで我々を
覗き込んでいる感じがする。
昼食の後はただただひたすら登るばかり、しかも胸が触れる
ほどの傾斜の登り。紺碧の空と美しく色づいた紅葉に岩峰の
色が重なり、（右写真右）惚れ惚れするような秋の山らしい
眺めが続く。



瑞牆山 (2230.2m) 14 時 20 分着。南アルプスの眺めは甲斐
駒・鋸から鳳凰三山まで、八ヶ岳そして間近に金峰山から甲
武信岳方面へと連なる奥秩父の主稜線。金峰山は五丈岩を明瞭
に見せて、なかなかの風格だが、上からどんよりとした雲が五
丈岩の間近まで押し寄せて来た。

（右写真：瑞牆山山頂にて 二人の服装の違いが面白い）
ぬるくなってしまった缶ビール二本を 1/2 ずつ分け合って飲んで、
軽食とコーヒーと休憩。徐々に霞みに囲まれたようになって
寒くなってきたので 15 時に下山開始。途中でもう薄暗くなっ
てしまい、瑞牆山荘に着いた時には完全に暗くなっていた。時
計を見ると 17 時。車で増富温泉に下り、予約してあった民宿溪
月へ。山に登らなかったメンバーがさらに 5、6 人加わって、会社を早期退職する川崎君の歡送会と登頂記
念慰労とを兼ねた愉快的な雑談会食の宴。



平成 11 年 10 月 31 日
天気は晴れ、やや暖かめの朝。サントリーワイナリー見物など寄り道をした後で解散。
我が土屋車は勝沼 IC から中央自動車道経由で帰京。自宅帰宅はやや早めの 15 時半。
紅葉はちょうど見ごろで、瑞牆山登山としては最良のタイミングだった。

以上